

宇土市の保育士さんをインタビュー

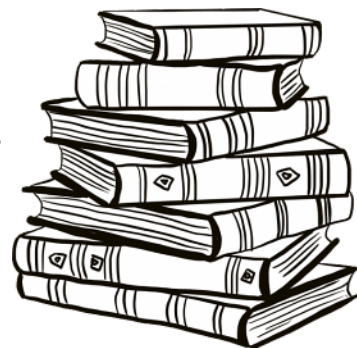
保育士魅力発信

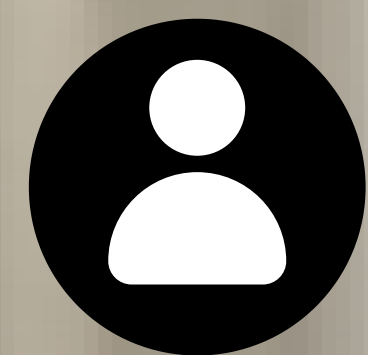
Vol. 2



県内でも珍しいヨコミネ式保育を実践している網田保育園を訪問し、
年長クラス担任の大崎先生にインタビューさせていただきました。
「子どもたちの可能性を信じ、挑戦する気持ちを大切に育む」ヨコミネ式保育。

「子どもたちの「できた！」があふれる保育！！」
子どもたちの成長を喜びに変えながら日々保育に向き合う先生、
先生の温かいまなざしと保育への想いに触れ
改めて保育の魅力を実感した時間となりました。





名前

大崎桃子



勤務年数

3年



担当クラス

5歳児（年長児）



好きなこと

温泉旅行



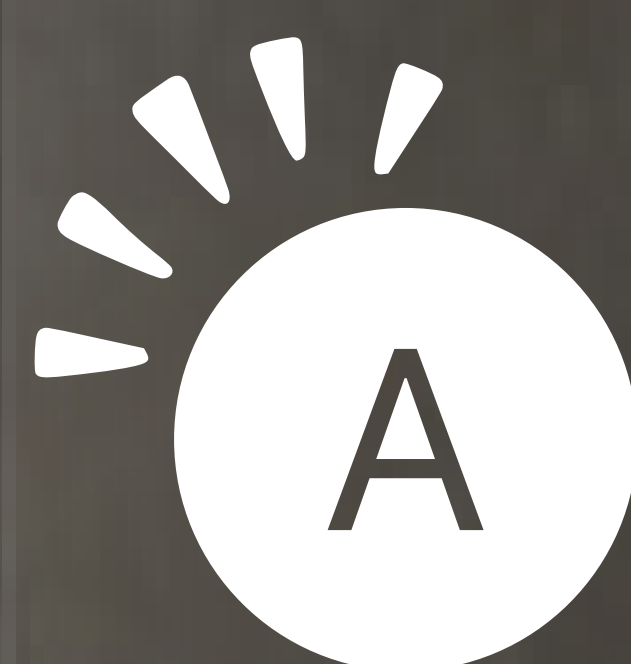
出身校

尚絅短期大学部
幼児教育学科



保育士を

目指したきっかけは？



小学生の頃から保育士に憧れていました。子どもの時から、
友達の弟や妹と関わる機会が多く小さい子どもと関わるのが大好きだったことがきっかけです。



幼い頃から習っていたピアノも、仕事で活かせるなと思ったことも
保育士を目指す後押しになりました。

ー保育士以外の仕事にも興味を持ったことはありますが、
学生時代に職場体験で保育園に行った経験や、歳の離れた従兄弟が誕生したこともあり、
やっぱり私は子どもと関わるのが楽しいなと改めて感じて保育士しかないなと思いました。

1日の流れ

勤務vasion 1 年長児編

7 : 5 0 出勤



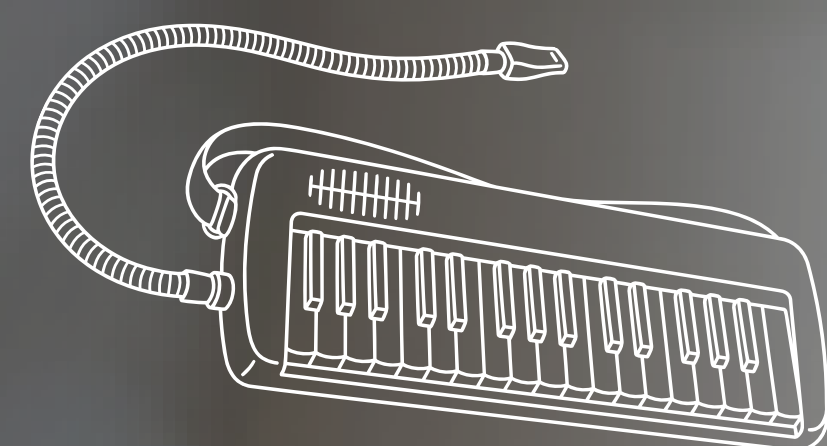
~ 8 : 2 5 外あそび

8 : 3 0 10分絵 部屋遊び



9 : 0 0 かけっこ園庭

9 : 3 0 お集まり

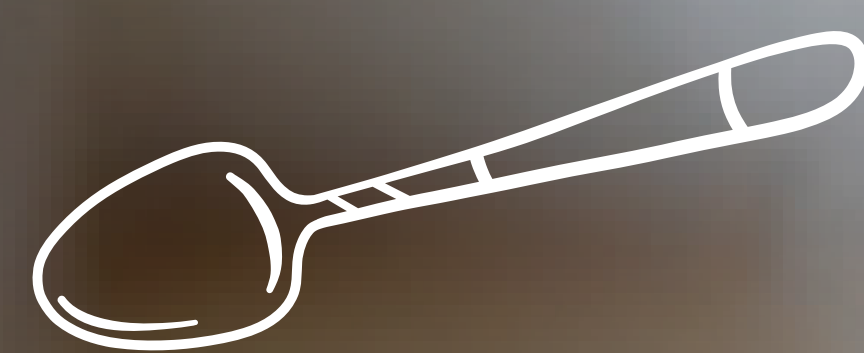


9 : 4 5 弾けるかな (バイエル)

1 0 : 0 0 音楽 (メロディオン)

1 0 : 3 0 自学 (書き 計算 かけ算 読み)

1 1 : 3 0 そろばん



1 2 : 0 0 給食

1 3 : 0 0 マス計算 ~ 自学 ~ 部屋遊び

1 3 : 3 0 体操 (手ぶみ 側転 跳び箱 など)

~ 1 5 : 0 0 おやつ



1 5 : 3 0 台奏

1 6 : 0 0 外遊び お迎え





Q 網田保育園ならではの
魅力は？



A ヨコミネ式保育を取り入れていることです。

子どもたち一人ひとりの可能性を信じ、

「できた！」という成功体験を積み重ねながら、

自信や意欲を育てています。

体操、そろばん、自学など、子どもたちにはやることが多いですが、

その中でも子ども自身で挑戦し、

成長していける環境が整っているところも魅力です。





Q お仕事で一番やりがいを感じることは？



子どもたちの
できなかったことが、
できるようになる瞬間に
立ち会えることです。

ヨコミネ式保育では、
子ども一人ひとりの可能性を信じ、
自ら挑戦し、
その課題を乗り越えていくことで
自信を育てていくことに力を入れています。
できなくて泣く子どももいますが、
それは悔しい気持ちがあるから
自然と涙がでるのだと思います。

また
泣くことで、
新たなパワーが生まれ、
次はできたりすることもあります。
悔しい気持ちや挑戦する気持ちは
子どもが成長するためには
必要な経験だと思っています。

日々の積み重ねの中で、
教えたことを理解・吸収し、
少しずつ自信を持って
できるようになっていく姿を
間近で見られること！
それがこの仕事の大きな魅力で
やりがいです。





Q 保育士をしていて嬉しかったエピソード

A

挨拶が苦手だった子がお集まりの時間に

「挨拶の大切さ」について話をした翌日、
その子が自ら

「おはようございます」と
挨拶してくれたことがありました。

私が伝えたことを理解してくれて
その子の姿勢を変えることができた
そしてその子の小さな成長を引き出せた
とても嬉しい出来事でした。

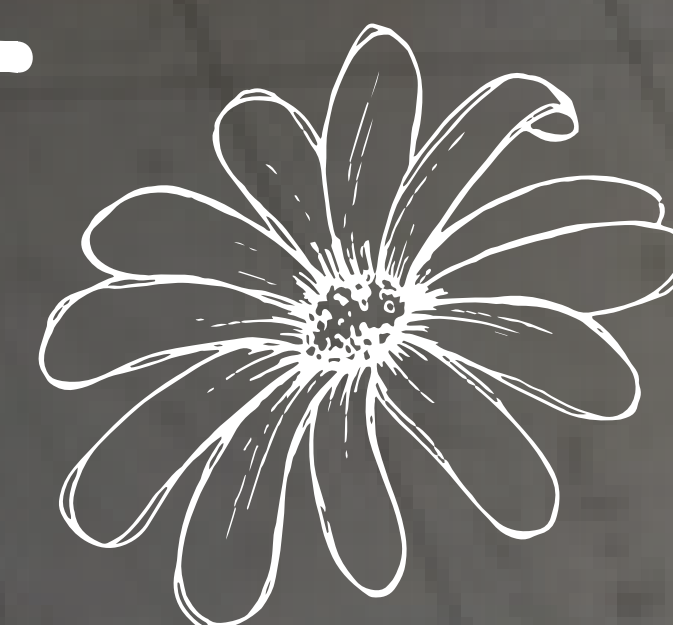
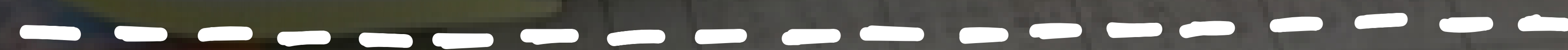


大変だと感じることはありますか？



正直、毎日が学びであり挑戦です。

1日のスケジュールも盛りだくさんなので、
あっという間に時間が経つなと感じることも多々あります。



そのような中でも、
子どもたちにどう伝えたら分かりやすいか、
一人ひとりに合った関わり方何かを常に考えています。
日々勉強しながら、より良い保育を目指しています。



その大変さを
Q 乗り越えられる理由は
何ですか？



子どもたちの「できた！」に
出会えた時の喜びが、
それ以上に大きいからです。

成長する姿を見るたびに、
また頑張ろうという気持ちになります。

たくさんすることがあっても
保育園に来たくない子どもたちは
一人もいないですし、とても楽しく
過ごしてくれていると思います。





Q

保育をする上で気をつけていることは？

A

子どもの気持ちに寄り添いながら、
一人ひとりの気持ちを大切にすることです。
まずは子どもの考えや気持ちを受け止め、
その上でどうしたらより良い方向へ進めるかを
一緒に考えるよう心掛けています。



職場の雰囲気は
どんな感じですか？



とても明るく賑やかな職場です。
面白くて個性豊かな先生がたくさんいて、
毎日楽しく働いています。
困った時や悩んだ時には先輩方への相談もしやすく
温かくサポートしてもらえる環境です。





Q 保育士として働いて
自分自身が成長したと
感じることはありますか？

A

子どもたちへの**声のかけ方**です。

経験を重ねる中で、

「**子どもはどうしたいのか**」を考え、
その思いを**尊重**しながら伝えることを
意識するようになりました。

子ども主体の保育を大切にしながら
関わる力が身についたと感じています。





Q 持ち帰りの仕事はありますか？



A 家に持ち帰ると
なかなか仕事する気持ちになれないので
必要な場合（行事の前など）は
職場で実施することはありません。



給料面で

不満はありますか？



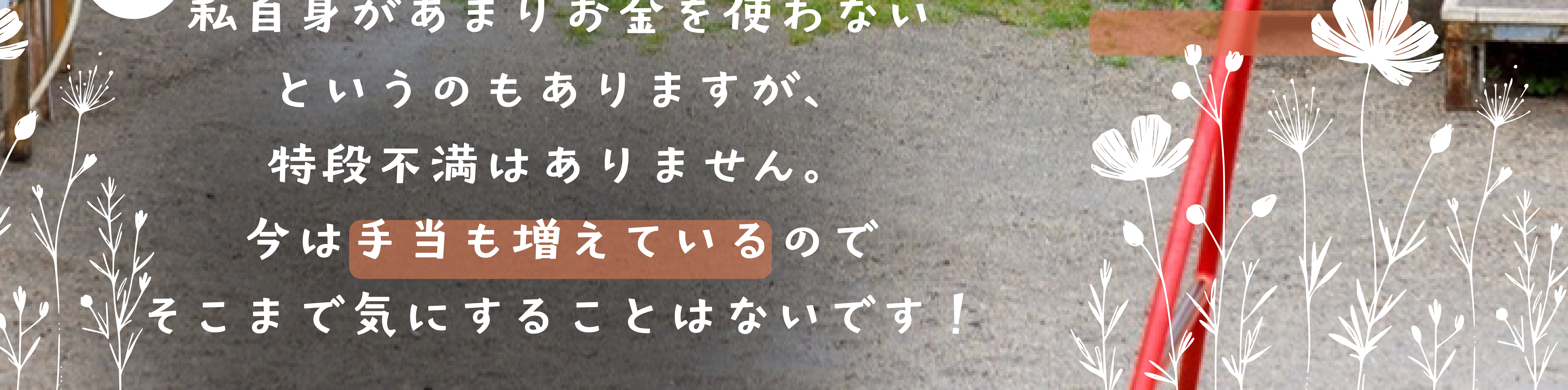
私自身があまりお金を使わない

というのもありますが、

特段不満はありません。

今は手当も増えているので

そこまで気にすることはないです！





Q

これから保育士を目指す方や、
網田保育園で働いてみたいと思う方へ
メッセージをお願いします。

A

保育士の仕事は悩むことや大変なこともたくさんあります。

私も最初はヨコミネ式の保育園を
希望していたわけではないですが、多くの課題がある分だけ
子どもたちの大変さも成長もたくさん見ることができます。

子どもたちの可能性を信じ、日々向き合いながら一緒に成長していける、
とてもやりがいのある保育士という仕事を目指してほしいです。

網田保育園

保育士魅力発信

宇土市の保育士さんをインタビュー



宇土市内へのバス送迎もあります！

子どもたちの可能性を信じ
挑戦する気持ちを大切に育むヨコミネ式保育。
1日のスケジュールを聞いたときはこんなにもやることが・・・
と感じましたが、
子どもたちの「やってみたい」という
気持ちを大切にしながら
自信や達成感を育てていることが伝わってきました。

ご協力いただき
ありがとうございました！

HP <https://www.city.uto.lg.jp/article/view/1244/15863.html>



Photographer
Kyohei Miyamoto



@KYOHEI_PHOTOGRAPHER

取材日
2026.6.2
瓦川佳奈



UTO.KOSODATE